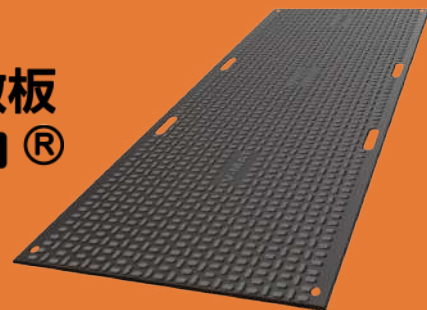




現場を選ばないプラスチック敷板

V-MAT®



プラスチック敷板はいまや必需品となり、使いやすさや滑り止め効果を選ぶ時代になりました。

V-MAT® は、すべり止めに立体的な楕円を交互に並べたデザインを採用しました。高いすべり止め効果を発揮しながら、すべり止めが歩行の邪魔になりません。

V-MAT は、120トﾝ車対応の強度があり、また、経済性が高いこと、車両にも歩行者にも適したすべり止めであることが評価され、国土交通省 新技術情報提供システム NETIS に登録されております。

現場を選ばない V-MAT を全国即納体制で、皆さまのご満足を保証いたします。



マイナス 30℃からプラス 60℃の過酷な現場で使用できます

高密度ポリエチレンは最高品質の証

プラスチック敷板のグレードは材料で決まります。

V-MAT® は、プラスチック敷板に使用する材料としてもっともグレードが高いとされる「高密度ポリエチレン」を採用しています。一般のプラスチックとくらべて密度が高いため敷板の耐久性が高いです。

くわえて、多くのプラスチック敷板は再生材が使用されていますが、V-MAT では「高密度ポリエチレン」のバージン材を使用しています。そのため、再生材と異なり均一な耐久性を実現しました。

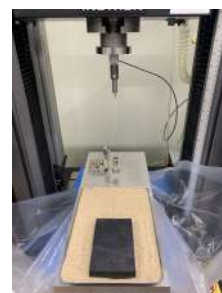
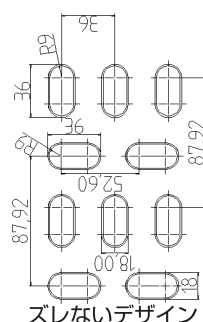
国土交通省 新技術情報提供システム
NETIS 登録製品
登録番号KT-220161-A

オーバルすべり止め効果比較

V-MAT® のオーバルすべり止めは地面をしっかりとつかみ、敷板がズレないように設計されています。

すべり止め効果を第3者ラボで試験しました。小さな試験片を砂の上に置いて、試験片の横から外圧をかけて試験片がズレ始める瞬間の外圧最大値を計測しました。静止摩擦力とよばれる数字です。

静止摩擦力の数字が大きいほど、敷板がズレません。



試験機

すべり止めタイプ	プラスチック敷板 V-MAT オーバルすべり止め	別のすべり止め		
		A	B	C
静止摩擦力 (N)	0.755	0.614	0.656	0.653

試験方法：JIS K7125

試験手順：試験片を砂の上に置き、試験片に 400g の錘を載せ安定させ、錘を除去して試験開始

V-MAT[®] は現場を選びません

- ・ V-MAT は-30℃から+60℃の気温で使用できます。極寒地や猛暑といった厳しい現場でも安心です。
- ・ V-MAT のオーバルすべり止めは、地面をつかみ敷板がズレない、タイヤが滑りにくく、かつ歩行者が歩きやすいため、ぬかるみから舗装路まで、さまざまな現場で使用できます。



仕様表

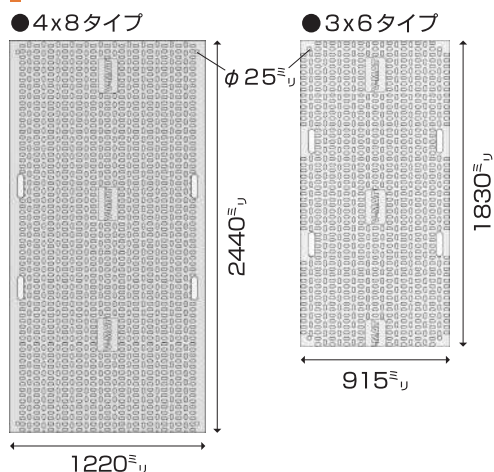
製品名称	プラスチック敷板V-MAT			
タイプ	4 x 8		3 x 6	
すべり止め	両面 オーバル	片面 オーバル	両面 オーバル	片面 オーバル
型 番	V48-R	V48-K	V36-R	V36-K
カラー	ブラック（カスタマイズ対応可）			
サイズ	2440 x 1220 [≒] _J		1830 x 915 [≒] _J	
厚 さ	12.7 [≒] _J + オーバル4 [≒] _J x2	12.7 [≒] _J + オーバル4 [≒] _J	12.7 [≒] _J + オーバル4 [≒] _J x2	12.7 [≒] _J + オーバル4 [≒] _J
重 量	39 [±] _□		22 [±] _□	
耐荷重	120 ^ト 車対応			
連結穴	4			
手持ち穴	4（長手に2つずつ）			
対応温度	マイナス30℃からプラス60℃まで			
材 質	高密度ポリエチレン（バージン材）			

オーバルすべり止め

オーバル(楕円)を縦方向・横方向に組み合わせた特殊なデザインです。理想のすべり止めを実現しました。



寸法図



株式会社プラス

〒150-0001 東京都渋谷区神宮前2丁目2-39-1005
 公式ホームページ： <https://www.v-mat.jp/>
 メールアドレス： info@v-mat.jp



TEL 0800-080-2080
FAX 0800-080-3080

このリーフレットは 2025 年 7 月の制作です